岸本公民館だより

第５号：令和３年 11 月 25 日発行

今年の大山の初冠雪は10月20日で、平年に比べ13日も早かったそうです。今は朝晩がめっきり寒くなり、10月初旬頃までの夏のような暑さがうそのようです。恒例の「岸本公民館きないや祭」も11月13日(土)、14日(日)の2日間、岸本公民館を会場に開催しました。コロナ禍ではありますが、秋の穏やかな天気に恵まれ2日間で約250人(昨年は約200人)の来場がありました。
コロナ禍の中、「きないや祭」の開催にあたって作品等多数ご出品いただいた一般、公民館教室、各種団体等の皆様、また、運営等ご協力いただいた関係者の皆様にこの紙面を借りお礼を申し上げます。来年こそは、多くの人で賑わいと活気のある「きないや祭」が開催できることを祈るばかりです。　　岸本公民館長　野坂幸二

「岸本公民館きないや祭」を開催しました。レビュー①

１１月１３(土)・１４(日)「岸本公民館きないや祭」を開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため作品展示・活動紹介などパネル展示のみとし、公民館を会場に開催しました。コロナ禍で「おうち時間」が長くなったことを反映したのか一般町民の方の出展が増えました。１階ミニギャラリーコーナーでは秋末羊子さんの樹脂粘土で作ったシデコブシ、吉持俊郎さんが自宅の庭で撮影した蝶の写真、古川匡子さんの幸せを呼ぶような伝筆、西澤益麗さんの文字のにじみに味わいのある書、ペンネーム「兎々恵」さんの子どもを描いたイラスト、田中治伸さんのユーモラスなペーパークラフトが並びました。「ファブリックステンシル＆こものクラブ」の青砥克子さんほか３名は豪華なステンシル作品やクラフトテープバッグなどを多数出品。公民館教室「お花のおけいこの会」の皆さんには華やかないけばなを展示していただきました。
ホールでは「４団体」(障がい者支援ボランティアざっそうの会、精神障がい者家族会、断酒会、障がい老人を支える家族の会)の皆さんの啓発パネルや、「伯耆みらい絵画活動」の作品を展示。「伯耆町商工会」は女性部の皆さんの陶芸体験、ステンドグラス体験などの作品を、青年部の皆さんは「校庭グラウンドの除草作業」や「放課後 教室の除菌」などボランティア活動の報告をされました。「伯耆町食生活改善推進協議会」は世代別レシピの配布や、住民の皆さんから集めた「減塩カレールーを味わってみた結果」の報告をパネル展示。「伯耆町岸本赤十字奉仕団」の皆さんは「世界赤十字キャンペーン」「防災の合同研修会」 などの様子やボランティア活動報告のパネル展示をされていました。
テレビでは公民館教室「フラダンス教室」の皆さんが「アロハウクレレ」の曲でゆったりと踊る映像が流されました。和室では公民館教室「茶道教室(裏千家)」の皆さんが所蔵する茶道具や掛け軸など、お茶室のしつらいを飾りつけ、お着物姿で紹介されていました。調理・研修室では岸本図書館による「雑誌のリサイクル市」が開催され、会場を訪れた方はゆっくりと本を選んでいらっしゃいました。

「岸本公民館きないや祭」を開催しました。レビュー②

２階中会議室には公民館教室「フォトクラブきしもと」の皆さんの気鋭の作品１１点と、公民館教室「岸本公民館陶芸教室」のさまざまな作風の作品が１３点展示されました。
第１会議室では公民館教室「いけばな同好会」落合華芳先生の指導のもと十数点の作品と、公民館教室「パッチワーク同好会」の大きなタペストリーなどが披露されました。
第２会議室は公民館教室「手作り教室」松尾光栄先生と生徒さん９名の大小さまざまな作品が約８０点飾られました。
大会議室には仲田旭豊先生指導の公民館教室「子供習字教室」の小中学生の作品３５点と、先生と「仲田書道教室」の皆さんの書など多数展示いただきました。「写真グループ MOCHIYORI」は地元で活躍の５名の方の組写真などを、「文化センター」からは「あみもの教室」「水曜お楽しみ会」など多彩な創作活動の作品が出品されました。
日光公民館からは大前義弘先生の作品を中心に「スケッチ同好会」の作品８点が、また岸本公民館の「陶芸教室」でも活動の野瀬渉さんの絵画が展示されました。毎年たくさんの作品を出品いただく「白鷺書院」からは矢口美奈子先生の書のほか、教室の皆さんの作品を展示頂きました。そのほか「行政展」として人権政策室、総務課、企画課、住民課、産業課が事業の紹介や普及啓発のパネル展示を行いました。一般、公民館教室、各種団体の出展いただいた方々のご協力と、来館・観覧いただいた皆さまに感謝申し上げます。

松栄学級　今年度の活動を開始しました

１０月２５日(月)、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期していた開講式を行いました。今年度は５名の新入会員が加わりました。続いて、大山リハビリテーション病院作業療法士の安井愛美さんを講師に「楽しくためになる『鳥取方式認知症予防プログラム』の実践！」と題して、講演と実技指導を受けました。このプログラムは日本財団、鳥取大学、伯耆町が連携して開発したもので、適度な運動と、思考力などのトレーニングを組み合わせて認知症を予防するというもの。継続して行うことで認知機能や身体機能の改善につながることが証明されているそうです。当日は講演のほか、プロジェクターを使って「脳トレゲーム」なども楽しみました。
鳥取県ではコロナ禍で外出しづらい中、自宅でも取り組めるようにと、このプログラムの動画を公開しています。YouTube で「とっとり方式」と検索下さい。次回、松栄学級は鳥取方面へ町外研修へ出かけます。

開館時間/月曜 8:30～17:00/火～金曜 8:30～21:30/土曜 9:00～21:30/日曜 9:00～17:00 休館日/国民の祝日、年末年始(12/29～1/3)
0859-68-3617　kishimotokoumin@houki-town.jp　西伯郡伯耆町吉長４９